

しおんだより VOL.36



柔道整復師も患者さんの社会復帰を支えます

入院されている患者様が、安心して治療とその後の社会復帰をしていただく為、我々スタッフ一同は様々なサポートをさせていただきます。入院中の治療により病気や怪我が治癒したとしても、それら疾患により低下してしまった身体機能を改善させ、実際に社会復帰していただければ本来の意味で回復したとは言えません。

リハビリテーションは、その低下した身体機能を改善させる重要なアプローチの一つであり、医師の指導のもと患者様に対してそれぞれの状態に合わせた評価・訓練をしていただき、その能力向上をはかるお仕事です。

当院のリハビリテーション科は、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士といった様々な医療資格を持つスタッフで構成されており、それぞれのスタッフが専門性を活かしたりリハビリを提供しております。柔道整復師もそのうちの一つです。

当院ではその専門性を活かして主に運動器疾患といわれる身体の動きにかかわる部位の疾患について、認定を受けた柔道整復師が他の医療資格を持つスタッフとの指導・協力のもとでリハビリを行っています。

リハビリテーション科が一丸となって、患者様自身も含めた治療チームの一員として、常に最高のリハビリを提供できるようこれからも頑張っております。

大阪病院学会で発表し、2演題が優秀演題に選ばれました

先月号のしおんだよりでもご案内しましたが、2023年10月8日、大阪国際会議場で開催された第22回大阪病院学会に参加してきました。

当院からは、看護部から3題、薬剤科・栄養科・リハビリテーション科・検査科・放射線科から各1題の合計8題の発表がありました。

どの発表も、日常業務の中で直面する課題について、それぞれの現場で知恵を絞った取組をまとめている、とても聞き応えがありました。

特別講演では堀ちえみさんの講演もありましたが、ご自身の闘病経験も赤裸々に語られ、とても感動しました。また250余題のうちの49題が選ばれる優秀演題賞の中に当院の発表が2つ含まれていました。来年は全国規模の学会にも挑戦していきたいです。



終了後ささやかな慰労会を開催しました。緊張が解けたスタッフの笑顔が素敵です。

おかげさまで、3年間継続できました。ご愛読に感謝です！

当院のあり方を地域の皆様には是非知っていただきたい。しかも、自分の言葉で…。そう考えて、無謀にも(?)一人で書き始めたのが、この「しおんだより」です。

小学生の時に新聞委員で壁新聞を作っていたから、というわけではないのですが、とにかくネタを見つけて、わかりやすく書こうと、七転八倒してきました。

幸い、毎月発行できており、ちょうど、今月号で丸3年が経過しました。三日坊主と言う表現がありますが、おかげまで3年坊主にはならず済みそうです。

最近では、患者さんや開業医の先生方にも「いつも読んでますよ!」「あれ、面白いですね…」と直接、感想をいただける機会も増えてきました。

そんな声と、毎日、現場で頑張っているスタッフの姿に元気をもらいながら、思温病院の今をこれからも皆様にお届けできればと思っています。(文責：狭間研至)

しおんだより vol.1 2020年11月15日

しおんだより VOL.1



新リハビリ棟が運用開始!

当院では、急性期病院で治療を終えられた後、ご自宅や介護施設での生活に戻られることを目標に、日々、リハビリに励まれる患者さんが多くいらっしゃいます。

地域の方々に「思温病院があるから安心・安全」と思っていたことを理念に掲げる当院では、「治療が終わって

広々とした空間で、新しい機器も設置された新しいリハビリ棟。若く元気なスタッフが患者様のADLの回復・維持に努めます。

2020年11月15日発行の栄えある(?)しおんだより第1号は、運用が開始されたばかりの新リハビリ棟についてのご紹介でした。

しおんだより 第36号 発行日：令和5年10月15日

発行人：狭間研至 発行元：医療法人嘉健会 思温病院

☎557-0034 大阪市西成区松1-1-31 電話06-6657-3711

HP: www.shion-hp.or.jp